



Tomoka Nakamura

プロフィール Profile

2020年 武庫川女子大学生生活環境学部建築学科卒業
2022年 武庫川女子大学院建築学研究科景観建築学専攻修了

これまでのワークライフイベント Work life events

大学卒業→大学院修士課程修了→
株式会社ランドスケープデザイン入社

ランドスケープの面白さは、 自然や街が成長することで 想定していなかった魅力ある 空間がひろがる場所です。

Q 大学で学んだ内容や大学院での
研究内容を教えてください。

A 大学では4年間建築学を学び、大学院に入ってから建築とともにランドスケープデザインについて学びました。座学での知識習得はもちろん、設計課題では建築物を設計するだけでなく、広場やアプローチ・植栽などの外の空間もひとつひとつ丁寧に設計することで、空間の質がより一層良いものになると学びました。設計するものが建築物だけではなく、検討段階で作成する模型の大きさも何倍にも大きくなり、友人と街の模型を囲みながら「この方向からの風景を大切にしたい」「こういった軸が存在するから設計に取り入れた方がいいのでは」など、意見を出し合って課題に取り組んだことはとても良い経験になったと思います。

Q 現在の仕事の内容や研究分野と
その面白さは何ですか？

A 現在はランドスケープデザインの設計をしております。都会に建つマンションの広場をつくったり、自然が広がる地域で屋外テラスを設計したりしており、様々な用途のお仕事に携わることができるのがとても楽しく、やりがいを感じます。建築物は竣工時が一番良い状態

にあることに対し、ランドスケープの面白さは、竣工時にはまだ小さい樹木たちが、長い年月をかけて成長し、設計しているときには想定していなかった魅力ある空間をつくりあげられるところにあると思っております。私はまだ経験も浅いですが、自分で描いた線が自分も驚くほど素敵な空間になる設計、を目標に長い時間をかけてランドスケープに寄り添っていきたいです。

Q 現職に進むことになったきっかけは
何ですか？

A 学生時代に毎週授業としてあったフィールドワークや海外研修などを通して、さまざまな地域に訪れた際に、街並み景観に魅力を感じ、緑や水をつかった空間にときめきを感じ、建築そのものだけでなく建築にたどり着くまでのアプローチに重要性を感じたのが大きなきっかけです。まだまだ小さな業界だからこそ、もっと多くの人にランドスケープの魅力を知ってもらいたいと思いこの道に進むことにしました。



Q 夢の実現に向けて努力したことは
どのようなことですか？

A 大学院生になってからランドスケープを本格的に学び始めたこともあり、はじめはとにかくたくさんの事例を見たり本を読んだり、この業界で働かれている方から積極的にお話を聞いたりして知見を深めました。また、建築物を設計していた今までの設計課題を、ランドスケープとしての視点でもう一度見直したことは就職活動にも大きく影響したのではないかと思います。

Q 休みの日は何をしていますか？

A 最近はベーグルにハマったこともあり、休日はパン屋さん巡りをしたりカフェ巡りをしたりしています。特に平日の朝はなかなか時間が

とれないため、休日の朝にゆっくり蒸して味わうベーグルは絶品です！上京してからたくさん睡眠をとり、ご飯をしっかりと食べることの大切さも実感しているので、学生時代より健康的になったのではないかと思います。

Q 後輩へのアドバイスをお願いします。

A あまり大きな業界ではなく、私自身就職活動をするにあたり不安も大きかったのですが、「自分が楽しいと思えることが何か」を第一に突き進んでいってほしいです。友人や家族と将来どうなりたいか話し合うことは自分を見直すきっかけになりますし、先生や先輩が何を考えて今の仕事をしているのか聞いてみるのも、世界が広がるきっかけになるのではないかと思います。頑張ってください！

column ストレス解消法

私のストレス解消法は旅行です！最近ではコロナ禍の影響も落ち着いてきたので国内旅行にも海外旅行にも何度か行きました。共通の趣味をもつ友人と美味しいご飯を食べ歩いたり、お買い物たくさんしたりして、仕事のことを一旦忘れる時間をつくるのが私にとってのストレス解消です。

